S-EU5CR

Pioneer

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。なお、「取扱説明書」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

ご使用の前に

❗ このスピーカーシステムの公称インピーダンスは、8Ω（オーム）です。負荷インピーダンスが 4～16Ωのアンプ（スピーカー出力端子に 4～16Ωの表示があるもの）へ接続してお使いください。

- 振動板は、外力により強い衝撃を与えますと破損することがあります。振動板には手を触れないでください。

⚠スピーカーを過大入力による破損から守るため下記の注意事項をお守りください。

- 許容入力以上の入力をいれない。
- 本機を含むAV機器をアンプへ接続するときはアンプの電源をOFFにする。
- グラフィックイコライザーで高音を大幅に増強する場合、音量を上げ過ぎない。
- 小出力アンプで無理に大きな音を出さない（アンプの高調波歪が増え、スピーカーを破損することがある）。

⚠ 警告

- 壁や天井に取り付ける場合は、事前に壁や天井などに、本品の重量（1.9kg）に十分耐える取り付け強度があることを確認してください。強度等が不明の場合は専門業者にご相談ください。本機が落下すると大けがをすることがあり、大変に危険です。

- 取り付け後は必ず安全性を確認してください。また、その後も定期的に安全性を確認してください。

取り付け場所、取り付け方法の不備による事故等の責任は当社では一切負いかねますのでご了承ください。

⚠ 注意

［設置］

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- テレビ、オーディオ機器等に本機を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

- 本機の上にテレビやオーディオ機器を乗せて移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- 壁や天井に取り付けたり、棚の上など高い所に設置しないでください。グリルは取り外し可能な構造なので、きちんと取り付けていないと、グリルが外れて落ちたりしてけがの原因になることがあります。(センタースピーカーのみ)

［使用方法］

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが 発熱し、火災の原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

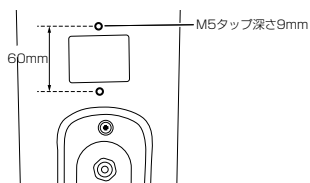
- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

設置について

スピーカーシステムの再生音は、リスニングルームの条件によって微妙に影響を受けやすいものです。設置する場所を考慮し、最適な状態でご使用ください。

- このスピーカーシステムはブックシェルフ型です。床に直接置くと床面からの音の反射が大きくなり低音部が強調されて聴きづらくなります。この場合は置台を使用して床面から離してください。一般的には、高音用のスピーカー（トゥイーター）とリスナーの耳の高さが同じになるように設定すると良い結果が得られます。なおリアスピーカーの置台にはスピーカースタンド（CP-EU5）をおすすめします。センタースピーカーは下図のように付属のスタンドをお使いください。

- リアスピーカーには右図のように、背面２カ所に壁掛け金具の取付用ネジ穴があります。市販の壁掛け金具を使用する際は、本品の重量(1.9kg)に十分耐えられるかご確認ください。また、壁掛け金具の取扱説明書をよくお読みください。落下すると大けがをすることがあり、大変危険です。

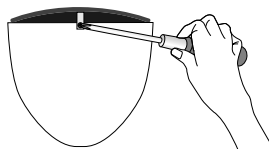
- リアスピーカーを壁や天井に取り付ける場合は、事前に壁や天井などに、本品の重量（1.9kg）に十分耐える取り付け強度があることを確認してください。強度等が不明の場合は専門業者にご相談ください。
- 取り付け後は必ず安全性を確認してください。また、その後も定期的に安全性を確認してください。

取り付け場所、取り付け方法の不備による事故等の責任は当社では一切負いかねますのでご了承ください。

🚫 設置上の注意

- スピーカーシステムは重いため、不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。

L字金具の取り付け方（リアスピーカーのみ）

リアスピーカーにはグリルネットの落下を防ぐために、L字金具が付属しています。本機を壁や天井に取り付ける場合や置台を使用して設置する場合は、以下の手順をお読みください。取り付け、取り外しには中型プラスドライバーが必要です。

1. グリルネット裏面下部にL字金具をネジ止めします。
2. グリルネットを取り付けます。（「グリルネットの着脱」参照）
3. 本機の底面側のL字金具をネジ止めします。

注意

使用しないL字金具やネジは取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

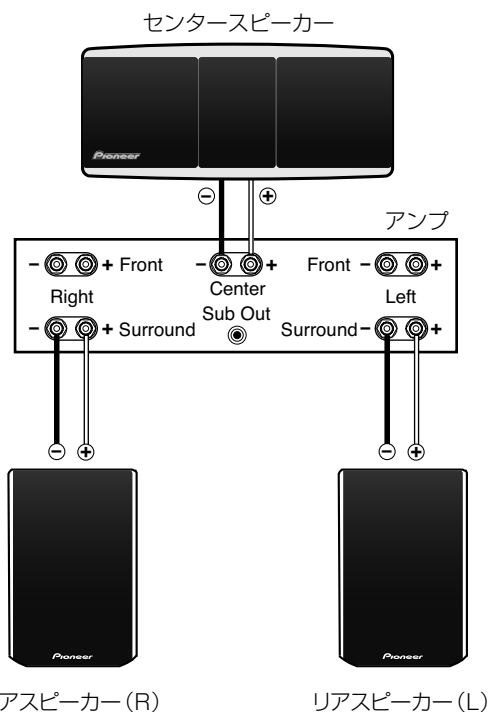
グリルネットの着脱

このスピーカーシステムは前面のグリルネットを取り外すことができます。グリルネットを着脱するときは、次のように行ってください。

1. 外すときはグリルネットの下側を両方の手で持ち、手前に軽く引っぱってグリルネットの下側を外します。
2. 同じように、グリルネットの上側を手前に引っぱるとグリルネットは本体から外れます。
3. 取り付けるときは、グリルネットの四隅にある突起部を本体の穴部に合わせて、押し込みます。

キャビネットのお手入れ

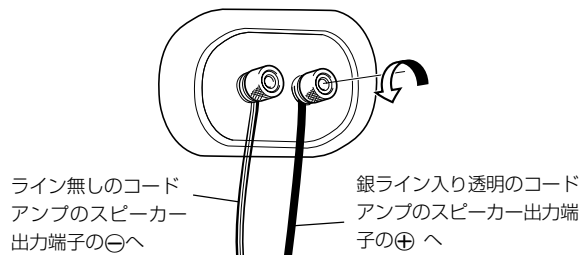
通常は、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきん等をお使いの場合は化学ぞうきん等に付属の注意事項をよくお読みください。

アンプとの接続

1. アンプの電源スイッチを切ってください。(POWER OFF)
2. スピーカーシステム裏側の入力端子とアンプのスピーカー出力端子を付属のスピーカーコードで接続します。⊕ 端子は銀ライン入り透明のコードで、⊖ 端子はライン無しコードでつなぎます。

① 被覆をはがして先端をまとめる。

② ネジをゆるめ、コードを穴に差し込んでからネジをしめる。

手で入力端子のツマミを左 ( ) に回してゆるめ、スピーカーコードの先端を端子の穴に差し込み、ツマミを締めます。

<センタースピーカー>

<リアスピーカー>

■ 本機の入力端子はバナナプラグでの接続もできます。

- 端子に接続した後コードを軽く引いて、コードの先端が端子へ確実に接続されていることを確かめてください。不完全な接続は、音がとぎれたり、雑音のでる原因となります。
- コードの芯線がはみ出して、芯線どうしがふれたりするとアンプに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- アンプに接続したときに、片方（右または左）のスピーカーシステムの極性（＋、−）を間違ってつないだ場合、正常なステレオ効果が得られなくなります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量は貴方の心がけ次第で大きくも小さくもなります。
とくに静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などには特に気を配りましょう。近所への音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

仕 様

センタースピーカー

型式 .... 密閉式、ブックシェルフ型防磁設計(JEITA)
スピーカー構成 2ウェイ方式
　ウーファー .... 10 cmコーン型×2
　トゥイーター .... 2.5 cmドーム型×1
公称インピーダンス .... 8 Ω
再生周波数帯域 .... 70～20,000 Hz
出力音圧レベル .... 86 dB
許容入力
　最大入力(JEITA) .... 130 W
クロスオーバー周波数 .... 2.9 kHz
外形寸法 .... 381(幅)×130(高)×153(奥行)mm
質量 .... 3.4 kg

リアスピーカー

型式 .... 密閉式、ブックシェルフ型防磁設計(JEITA)
スピーカー構成 2ウェイ方式
　ウーファー .... 10 cmコーン型×1
　トゥイーター .... 2.5 cmドーム型×1
公称インピーダンス .... 8 Ω
再生周波数帯域 .... 80～20,000 Hz
出力音圧レベル .... 84 dB
許容入力
　最大入力(JEITA) .... 130 W
クロスオーバー周波数 .... 2.5 kHz
外形寸法 .... 130(幅)×203(高)×153(奥行)mm
質量 .... 1.9 kg(1個)

付属品

センタースピーカー用スタンド 1
スピーカーコード(3 m) 1
スピーカーコード(10 m) 2
センタースピーカー用スタンド 1
L字金具 2
ネジ 4
保証書 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
取扱説明書

- 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

出力音圧指向周波数特性／高調波歪率特性

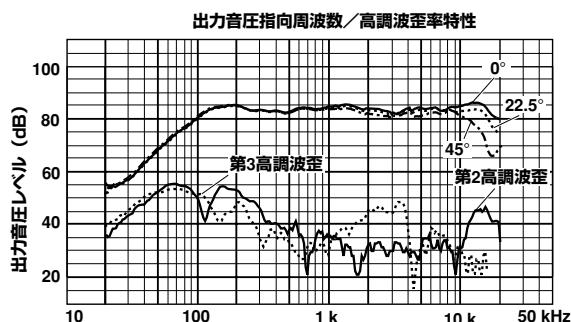
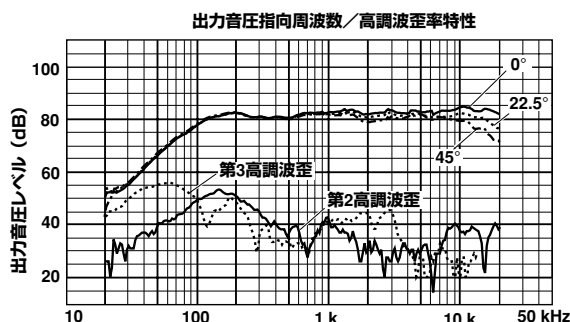
■ センタースピーカー

出力音圧指向周波数／高調波歪率特性

出力音圧レベル（dB）

100 80 60 40 20

10 100 1 k 10 k 50 kHz

0° 22.5° 45° 第3高調波歪 第2高調波歪

■ リアスピーカー

ご注意

- 本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムです。設置のしかたによっては、色むらが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色むらを発生するような場合には、スピーカーを更に離してご使用ください。近くに磁石磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色むらを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

保証期間中（1年間）、および保証期間経過後の修理についてはお買い上げの販売店、または最寄りの当社サービスステーションにご相談ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口･修理窓口のご案内」をご覧ください。なお、本機の補修用性能部品の＊最低保有期間＊は、製造打切後8年間です。

＊ この期間とは通商産業省の指導によるもので、補修用性能部品とは本機の性能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口　・　修理窓口のご案内

●パイオニアホームページ　：お客様サポート　http://www.pioneer.co.jp/support/index.html
（商品についてよくあるお問い合わせ・カタログの請求・メールマガジン登録のご案内など）

<下記窓口へのお問い合わせの時のご注意>市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、ＰＨＳ、携帯電話などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付　月曜～金曜 ９：３０～１７：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１７：００（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ／ビジュアル商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口　フリーフォン ００７０－８００－８１８１－２２
一般電話　【一般電話】０３－５４９６－２９８６
●ファックス受付　０３－３４９０－５７１８

修理についてのご相談窓口

●お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付　月曜～金曜 ９：３０～１９：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１８：００（弊社休業日は除く）

電話（フリーダイヤル）０１２０－５－８１０２８（ゴーバイオニア）　ファックス（フリーダイヤル）０１２０－５－８１０２９
一般電話　０３－５４９６－２０２３

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付　月曜～金曜 ９：３０～１８：００（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

一般電話　０９８－８７９－１９１０　ファックス　０９８－８７９－１３５２

ＶＯＬ.０１３

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<05H00001>　<SRA1427-A>